

武雄杵島地区 MCS導入・活用ガイド

武雄杵島地区医師会

武雄市・大町町・江北町・白石町

もくじ

1. はじめに
2. MCSの導入方法
3. 利用にあたってのお願い
4. 推奨の初期設定
5. さいごに

医療介護現場がリアルタイムにつながる多職種連携ツール

MedicalCare STATION

メディカル ケア ステーション

医療現場のための
コミュニケーションツール

多職種連携、地域包括ケアの
実践を支えるICTツールとして
全国の医療現場で
ご利用いただいています。

全国医師会
多数採用

医療・介護
ユーザー数
320,000人
以上!

メッセージを入力して下さい 送信

患者
お薬今日も飲めました

医師
お薬の飲み方で
わからないことがあったら
なんでも聞いてくださいね

ケアマネージャー
カプセルのお薬は
飲むのが大変そうでした。
錠剤にするのは
可能でしょうか。

業務効率アップ！
ビジネスプラン

開設登録日から90日間無料

※MCSご紹介資料（MCSHPより）

1. はじめに

この手引きは、**医療・介護専用の情報共有ツールMCS(メディカルケアステーション)**を**武雄杵島地区で導入・活用するための流れやポイントをまとめたもの**です。

この流れに沿って進めていくことで、多職種による情報共有の体制が整い、地域全体でスムーズな連携が進みやすくなることを目指しています。



2. MCSの導入方法

2. MCSの導入方法（全体の流れ）

①.MCSの新規登録



※MCSHPより

②.医師会に 利用申告

MedicalCare STATION (MCS) 利用申告書
(一社) 武雄杵島地区医師会事務局 御中
記入日: 令和 年 月 日

事業所名			
事業所住所 (〒 -)			
電話番号	担当氏名		

○利用申告者記入欄○

No.	フリガナ	職種	MCSに登録した際のメールアドレス
1			
2			
3			
4			
5			

利用にあたっては下記に留意する必要があります。同意いただける場合は、□に入力して下さい

利用にあたっては、当事業所の利用者全員が厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」および「MCS運用管理規定」、「本運用方針」ならびに関係法令等を遵守します。

【注意事項】

- 【利用申告者記入欄】には、1人1メールアドレスをご記入下さい。（施設の代表や部署のメールアドレス等、複数人が利用で利用するメールアドレスは原則登録不可です。）
- 登録されたメールアドレスは「武雄杵島 MCS 基幹グループ」への招待をお送りしますので参加下さい。以後は、メールアドレスなどで連携メンバー等の招待・グループ作成が可能となります。
- 欄が不足する場合は、コピー等でご対応をお願いします。

【本申告書提出先および本事業に関するお問い合わせ先】
(一社)武雄杵島地区医師会事務局
在宅医療・介護連携支援センター 担当：尾形・宮地
TEL：0954-23-3844（担当者直通：080-8566-2104）
FAX：0954-23-2216

③.武雄杵島MCS 基幹グループへ 参加



④.関係者との 情報共有



2 - ①.MCSの新規登録

①.MCSの新規登録

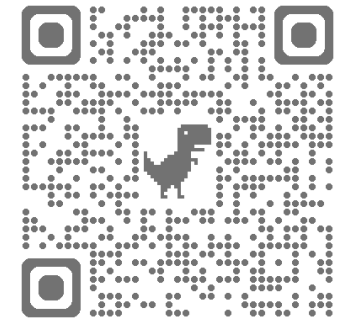
②.医師会に
利用申告

③.武雄杵島MCS
基幹グループへ
参加

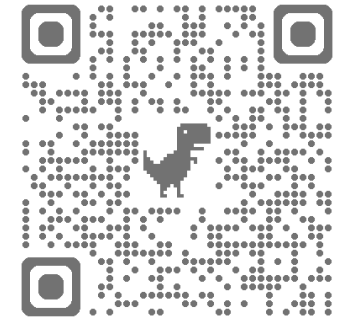
④.関係者との
情報共有

MCSのHP内の「HPからの新規登録方法」を参考に**新規登録をお願いします**。
「利用サポート▶使い方ガイド」よりご覧になれます。

<[MCSHP\(TOP\)](#)>



<[MCSHP\(使い方ガイド\)](#)>



MedicalCare STATION

ホーム サービス紹介 プラン・料金 導入事例 **利用サポート** よくあるご質問 製薬・医療機器・
医材料企業の方向け

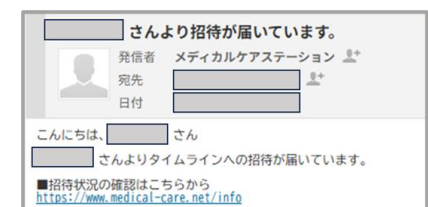
無料新規登録 ログイン

基本操作

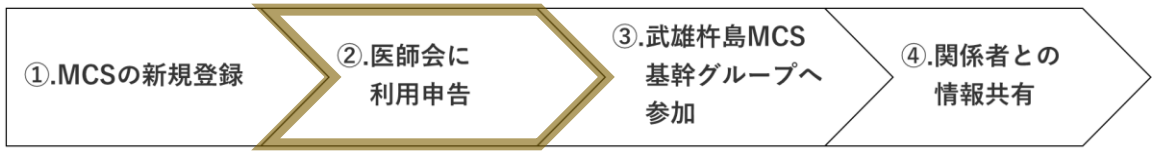
ご利用ガイド 基本操作 PDFダウンロード	HPからの新規登録方法 PDFダウンロード
ログイン方法 PDFダウンロード	スタッフの登録方法 PDFダウンロード
自由グループの作成方法 PDFダウンロード	

※登録には個別のメールアドレスが必要です（Gmailなどのフリーメールの使用可能）。

通知メールのメール本文には「〇〇が届きました」という内容が送られるだけで**個人情報に含まれません**。
メールは単なる呼び出し通知に留まるため、万が一メールが誤送信・転送されても患者情報が漏れる心配はありません。そのため、MCS専用のGmailなどを新規に作成していただいても差し支えありません。



2 - ②.医師会に利用申告



円滑な連携のためには、**手順③の「武雄杵島MCS基幹グループ」への参加が必要です。**
グループ参加には、**医師会HPより「MCS（メディカルケアステーション）利用申告書（別紙様式1）」をダウンロードの上、ご提出**をお願いいたします。提出方法は、以下のいずれかをご利用ください。
● 医師会HP内の「MCS利用申告書提出フォーム」 ● 申告書に記載されているメールまたはFAX

<別紙様式1>

MCS（メディカルケアステーション）利用申告書

（一社）武雄杵島地区医師会事務局 御中

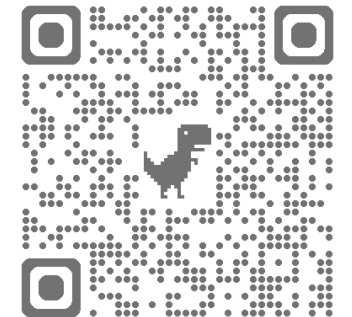
記入日： 令和 年 月 日

事業所名			
事業所住所	（〒 - ）		
電話番号		担当者名	

○利用申告者記入欄○

No.	フリガナ	職種	MCSに登録した個別のメールアドレス
	お名前		
1			
2			
3			

<[医師会HP](#)>



* **武雄杵島基幹グループは、武雄杵島地区全体での連携を円滑に進めるための中核グループです。**MCSは通常、メールアドレスによる「招待制」を採用していますが、一度でも同じグループに所属すれば、以後はメールアドレスを使わずに招待や新規グループの作成が可能になります。また、1対1での連絡もすぐに行えるようになり、関係者との情報共有がより効率的に行えるようになります。

2 - ②. 医師会に利用申告

①. MCSの新規登録

②. 医師会に
利用申告

③. 武雄杵島MCS
基幹グループへ
参加

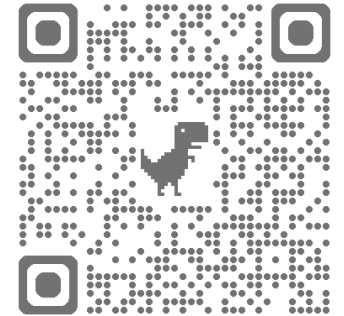
④. 関係者との
情報共有

利用申告書には、MCS利用に関する同意欄があります。

患者情報を取り扱う際の安全管理の基本や運用ルールについて、以下の文書をご確認のうえ、**同意欄にチェック**を入れてください。

- 厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」
- エンブレス社「MCS運用管理規程」
- 武雄杵島地区医師会「武雄杵島地区MCS(メディカルケアステーション)運用方針」

<[厚生労働省HP](#)>



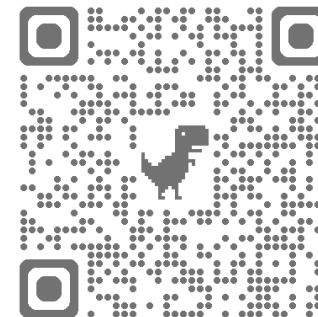
利用にあたっては下記に同意することが必要です。同意いただける場合は、に✓を入れて下さい

- 利用にあたっては、当事業所の利用者全員が厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」および「MCS 運用管理規定」、「本運用方針」ならびに関係法令等を遵守します。

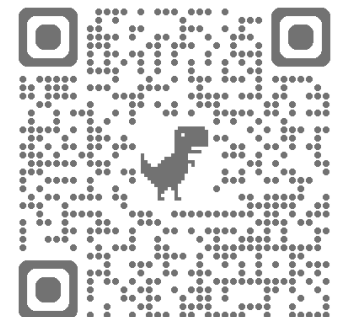
【注意事項】

1. 【利用申告者記入欄】には、1人1メールアドレスでご記入下さい。（施設の代表や部署のメールアドレス等、複数人が共同で使用するメールアドレスでは原則登録不可です。）
2. 記載されたメールアドレスに「武雄杵島 MCS 基幹グループ」への招待をお送りしますのでご参加下さい。以後は、メールアドレスなしで連携メンバー等の招待・グループ作成が可能となります。
3. 本申告書は「武雄杵島 MCS 基幹グループ」への参加を希望する場合に提出いただくものです。利用者・ご家族、または基幹グループに所属していない方（例：地区外の関係者など）は、本申告書の対象外となります。※これらの方をグループ等に招待する場合は、個別にメールアドレスによる招待操作を行ってください。
4. 欄が不足する場合は、コピー等でご対応をお願いします。

<[医師会HP](#)>



<[MCSHP\(運用規定\)](#)>



2 - ③.基幹グループへ参加

①.MCSの新規登録

②.医師会に
利用申告

③.武雄杵島MCS
基幹グループへ
参加

④.関係者との
情報共有

利用申告書をご提出いただいた後は、医師会事務局にて内容を確認のうえ、「武雄杵島MCS基幹グループ」への招待メールをお送りします。メール等で通知が届きましたら、案内に沿って**グループへの「参加」**をお願いいたします。なお、**招待は平日のみ順次対応しております**。土日・祝日にご提出いただいた場合は、翌平日以降の対応となりますので、あらかじめご了承ください。



2 - ④.関係者との情報共有

①.MCSの新規登録

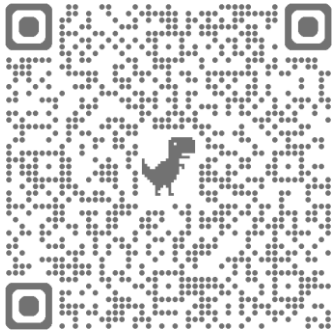
②.医師会に
利用申告

③.武雄杵島MCS
基幹グループへ
参加

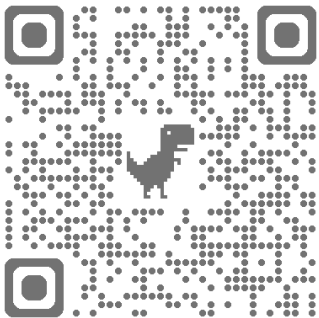
④.関係者との
情報共有

これまでの設定で、**関係者との情報共有がスタート**できます。まずはテストも兼ねて、1対1でメッセージをやり取りできる「つながり機能」や、患者情報を含まない「グループ機能」の作成・運用を、事業所内で行うことを推奨します。グループの作成方法などは、MCSの「使い方ガイド」をご参照下さい。テスト運用後は、実際の患者・利用者に関する「被支援者グループ」を作成し、関係者と情報共有を始めましょう。

<MCSHP(つながり機能について)>



<MCSHP(使い方ガイド)>



：基本操作



ご利用ガイド 基本操作

PDFダウンロード



ログイン方法

PDFダウンロード



自由グループの作成方法

PDFダウンロード



HPからの新規登録方法

PDFダウンロード



スタッフの登録方法

PDFダウンロード

：患者グループの作成や招待



患者・利用者の作成方法

PDFダウンロード



患者さんご本人が自発的に登録できるようにする方法(かかりつけ登録)

PDFダウンロード



患者・利用者グループに 家族を招待する方法

PDFダウンロード



患者さんご本人を招待する方法

PDFダウンロード



患者・利用者側タイムラインに医療介護関係者を招待する方法

PDFダウンロード



入退院連携リクエストを活用する方法

PDFダウンロード

3. 利用にあたってのお願い

3. 利用にあたってのお願い

MCSを円滑に活用し、安心・安全な情報共有を行うためには、参加される皆さま一人ひとりのご協力が欠かせません。ここでは、MCSの利用にあたって特にお願いしたい4点についてご案内します。

① 顔写真(イラスト)の設定



顔の見える関係の強化

② 投稿・閲覧時のマナー



関係者とのつながり強化

③ 同意取得に関するルール



役割の明確化

④ セキュリティ対策



情報漏洩の防止

3 - ②.投稿・閲覧時のマナー

MCSを安心して活用するために、以下のマナーを意識してご利用ください。

1. 投稿を見たら「リアクション」を

- ・既読確認や感謝の気持ちは、スタンプなどで伝えましょう。
- ・簡単なリアクションが、チーム全体の安心につながります。



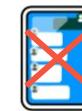
2. 夜間・休日の投稿には配慮を

- ・時間帯に配慮した投稿を心がけましょう。
- ・受け取る側も、業務時間外の即時確認・返信は不要です。

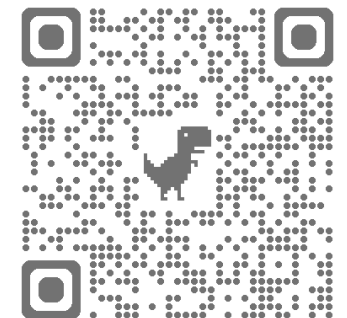


3. 返信を強要しない

- ・投稿を読んでもいけば十分な場合もあります。
- ・相手の状況を尊重し、無理のないやりとりを意識しましょう。



<[医師会HP](#)>



※併せて「武雄杵島MCS運用方針」7～9項を再度ご確認ください。

3 - ③.同意取得に関するルール

MCSで情報共有を行うには、本人（または家族）の同意が必須です。
この同意は、「**連携メンバーのうち、誰か1名が取得すればOK**」ですが、**実際には誰が取得するかを関係者間であらかじめ確認しておく**ようにお願いします。

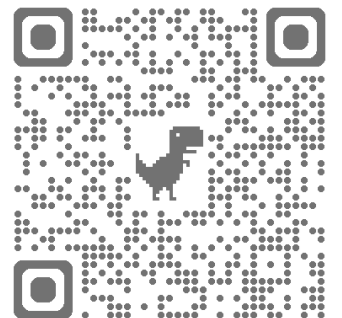
- 医療機関が対応するのが一般的ですが、状況によってはケアマネジャーや訪問看護師が行っても構いません。
- その場で取りやすい立場の支援者が柔軟に対応しましょう。

Point!

誰が同意を取るかを決めておかないと、「誰も取っていない」「取ったと思っていた」という行き違いが起きがちです。

※併せて「武雄杵島MCS運用方針」4項を再度ご確認ください。

<[医師会HP](#)>



3 - ③.同意取得に関するルール

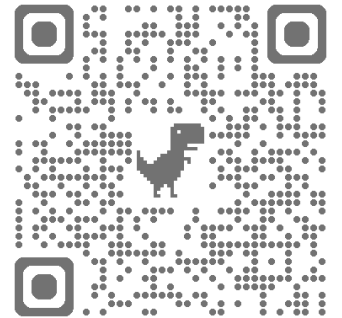
<同意取得後について>

同意取得後は、**同意取得者が中心**となって、以下の手順を参考に「患者・利用者グループ」の作成などを進めてください。MCSの特長である**“誰でもグループを作成できる”**仕組みを活かし、円滑な情報共有につなげましょう。

※グループの作成方法は、MCSの「使い方ガイド」をご参照下さい。

- ① MCS上で被支援者グループを作成
- ② 同意書の写しをグループ内にアップロード
- ③ 関係者をグループに招待して情報共有を開始

[<MCSHP\(使い方ガイド\)>](#)



Point!

「在宅医療情報連携加算」「訪問看護医療情報連携加算」について（参考）






この加算では、必ずしも自院で同意書を取得する必要はありません。

連携先のお機関が取得した同意書であっても、内容が適切であれば共有・活用が可能です。





3 - ④.セキュリティ対策

MCSは、インターネット接続が可能なPC・スマホ・タブレット端末から利用できますが、安全にMCSを活用するため、**利用端末には以下のセキュリティ対策を徹底**してください。大切な個人情報を安全に取り扱うため、ご理解とご協力をお願いいたします。

【基本的な対策】

- 利用端末への画面ロック（パスコード、指紋認証等）の設定  
- 利用後や離席時には必ずMCSからログアウトする 
- MCS内の情報をスクリーンショットやコピーで外部に転送しない 
- MCSのアプリやブラウザは、使用後は必ず終了する 

【追加で推奨される対策】

- 端末のOSやアプリを常に最新の状態に保つ（自動アップデート推奨） 
- ウイルス対策ソフトやセキュリティアプリを導入しておく 
- Wi-Fiはパスワード付きの安全なネットワークを使用する（フリーWi-Fiでの使用はしない） 
- MCSアカウントのパスワードは他サービスと併用せず、定期的に変更する 

※個人所有端末(BYOD)の利用については、各事業所の判断のもと、適切な管理と十分なセキュリティ対策を講じた上での利用をお願いします。

4. 推奨の初期設定

4. 推奨の初期設定

MCSを快適にご利用いただくため、はじめにいくつかの設定を行っておくことをおすすめします。
特に推奨される初期設定として2点についてご案内します。

① 専用アプリの導入



プッシュ通知で**見逃し防止**

② メール通知のオフ設定



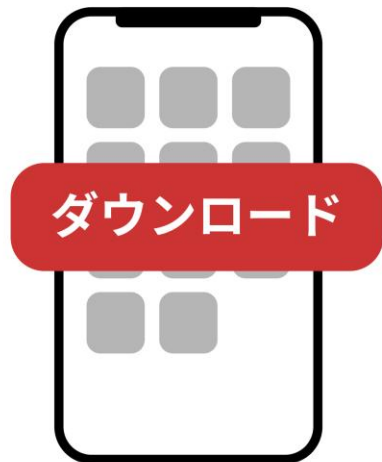
メール受信の**膨大化を防止**

4 - ①.専用アプリの導入

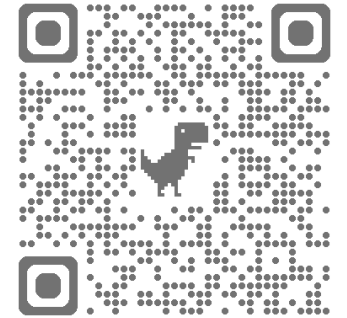
MCSの利用にあたっては、専用アプリの導入を強く推奨します。

アプリは、iOS・Androidいずれの端末にも対応しており、ログイン時に指紋認証や顔認証といった**生体認証が使えるようになるため、安全かつ手軽にアクセス**できるようになります。

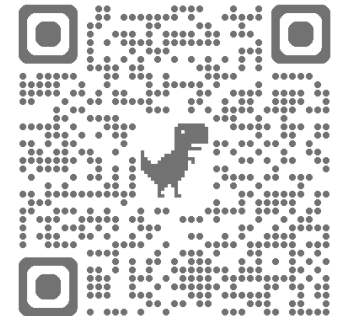
さらに、**プッシュ通知が有効になる**ことで新着通知をリアルタイムに受け取ることができ、**重要な連絡の見逃しを防ぐ**ことができます。円滑な連携のためにも、ぜひ専用アプリをご活用下さい。なお、**アプリは無料**でご利用いただけます。



<[iOSアプリ](#)>



<[Androidアプリ](#)>



4 - ②.メール通知のオフ設定

MCSでは、各グループでの投稿やコメントがあるたびに、**メールで通知が届く設定が初期状態（デフォルト）**となっています。そのため、メールボックスがすぐにいっぱいになる可能性があります。そのため、「**メール通知はOFF**」にして「**アプリのプッシュ通知をON**」にすることをおすすめします。

※通知の変更方法は、MCSの「使い方ガイド」をご参照下さい。

通知設定

一括招待 お知らせ

患者・利用者

医療・介護側、患者・利用者側、絞り込みに投稿されたメッセージを通知する。

メール

プッシュ通知

グループ：投稿

グループ（職場の情報共有も含む）に投稿されたメッセージを通知する。

メール

プッシュ通知

グループ：相談

グループに相談・回答されたメッセージを通知する。個別に設定したい場合はグループ毎に通知の設定を行って下さい。

メール

プッシュ通知

つながり

つながりに投稿されたメッセージを通知する。

メール

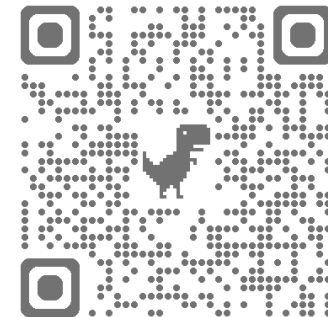
プッシュ通知

ホーム 患者・利用者 グループ つながり メニュー

：便利な使い方や機能

- スタッフアカウントをメールアドレス以外で作成/管理する (医療・介護ユーザー向け) [PDFダウンロード](#)
- 通知設定ユーザガイド (医療・介護ユーザー向け) [PDFダウンロード](#)**
- 通知設定ユーザガイド (患者本人・患者家族向け) [PDFダウンロード](#)

[<MCSHP\(使い方ガイド\)>](#)

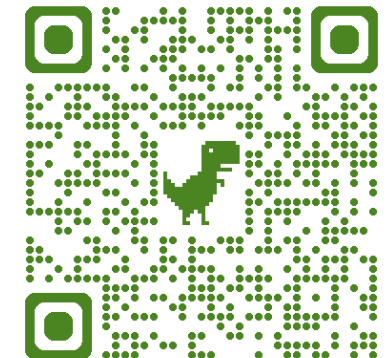
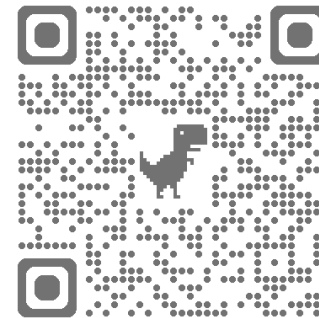


5. さいごに

実際にMCSを利用して、わからないことやお困りの点がありましたら、下記の医師会事務局までお尋ね下さい。また、MCSのHPにも「よくある質問（FAQ）」が掲載されております。ぜひご活用下さい。今後の円滑な連携と情報共有のため、**MCSの登録・活用にご協力をお願いします。**



<MCSHP(よくあるご質問)>



【お問い合わせ先】

武雄杵島地区医師会事務局（在宅医療・介護連携支援センター）

担当：尾形・宮地

TEL：0954-22-3344（担当者直通：080-8566-2104）

※MCSの「つながり」からもご連絡いただいて構いません